

茅ヶ崎同盟教会月報

— 2017年5月号 —

あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださることを私は固く信じているのです。(ピリピ；1章6節)

253-0054 茅ヶ崎市東海岸南2-11-17 Tel&Fax.0467-82-3076

<https://project01-1470323016877.appspot.com/>

(「茅ヶ崎同盟教会」で検索できます)

おはよう。喜びあれ

牧師 山村 諭

すると、イエスが彼女たちに出会って、「おはよう」と言われた。彼女たちは近寄って御足を抱いてイエスを拜んだ。 マタイの福音書27章9節
あいさつを交わすこと

先日、通勤で使っている相鉄線の駅で「相鉄瓦版」なる小さな冊子を手にしました。その中で、サンコンさんの記事が目にとまりました。外交官の経験もあるタレントのオスマン・サンコンさんは、アフリカのギニア共和国出身。ギニアの言葉だけでなく、フランス語、スペイン語など6カ国語も話すそうです。ギニアには10ほどの部族があり、サンコンさんはスूसー族。近所にはフラニ族、マリンケ族がいるそうです。

スूसー語の「おはよう」は「タナモリィ」。フラニ語では「ワーリギヤム」。マリンケ語では「イショマ」だそうです。ギニアの公用語フランス語では「ボン マタン」。多言語、他民族、しかも大家族の中で育ったサンコンさんは、相手が誰でも積極的にあいさつするそうです。

あいさつを交わすことで、人との会話が始まり、お互いのことや家族のことなど、話が発展していくことがあります。相手に関心をもって接することの第一歩が、あいさつなんだろうと思います。挨拶って、大切ですね。

イエスさまも「おはよう」

イースターの朝、死からよみがえられたイエスさまは、マリヤたちに現れ「おはよう」と声をかけました。聖書の原文(ギリシャ語)では、「喜びあれ」という言葉です。イエスさまの「おはよう」。相手に対する関心だけでなく、とっても意味深い響きがあると言えます。

「おはよう」と同じ言葉を、十字架につけられる前のイエスさまは聞いていました。「ユダヤ人の王

さま。ばんざい」。兵士たちがイエスさまをからかって言った「ばんざい」が同じ言葉です。さらにイエスさまを裏切ったユダが、イエスさまに近づき「先生。お元気で」と言って、口づけし、それを合図にイエスさまは群衆に捕らえられました。「お元気で」が「おはよう」と同じ言葉でした。

「ばんざい」という嘲りの言葉。「お元気で」という裏切りの言葉。人の心の暗やみから出てくる言葉がイエスさまに投げつけられました。イエスさまが聞いたのは、相手に関心をもって心を開くあいさつではなく、人をおとしめ死に引き渡す言葉でしたが、イエスさまはそれを引き受けて十字架で死なれたのでした。しかし、イエスさまは、その死を打ち破り、よみがえりました。そしてマリヤたちに「おはよう」と語られたのです。死をもたらず言葉を、いのちと喜びをもたらず言葉に転換して「おはよう：喜びあれ」と語られたのです。

「おはよう」とあいさつするたびに

イエスさまは私たちにも「おはよう」と語りかけ、出会ってくださるお方です。死を打ち破り、いのちをもたらししたイエスさまが「おはよう：喜びあれ」と近づいてくださいます。私たちの何気ない日常が、イエスさまの「おはよう」によって新しくされます。朝起きて、夫婦が互いに「おはよう」とあいさつする時、「あなたにキリストの喜びが今日もあるように」と願いをもってあいさつできる。親が子に、子が親に、兄弟姉妹が互いに「おはよう」とあいさつする時、復活のイエスさまの力に与って今日も歩みだそうと思えたら、素敵だと思います。元気を失った朝にも、「おはよう」と聞いたときに、「そうだ、死を滅ぼしたイエスさまが、おられるのだ」と思えたら、救いがあると思います。「死の言葉」を「喜びの言葉」へと転換してくださったイエスさまのいのちに、あなたも与ることができますように。